

平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立西脇小学校
校長氏名	田野岡 教彦
作成日	平成30年(2018年) 2月 26日

1 教育目標

心身ともに健康で、自主的に物事を考え自他の人格を尊重し、互いに協力して実践していく子どもを育てる。

2 本年度の取組についての評価

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を積極的に発信する。 ・西脇地域共有コミュニティ・コミュニティスクールのより一層の充実を図る。 ・保護者や地域の人材を活用し地域に開かれた学校づくりに努める。 ・学校開放週間を充実させる。 ・学校運営協議会との連携を深め、よりよい学校運営に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶のできる子どもを育てる。 ・規範意識を高める。 ・心をゆさぶる感動体験や地域の方々との交流活動を計画的に実施する。 ・人や自然とのかかわりを大切に考えた実践を工夫する。 ・道徳教育・国際教育・読書活動等の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み・書き・計算等の基礎学力の充実を図る。 ・自分の考えをもち、表現できる子を育てるために、授業のねらいに迫る話し合い活動を取り入れる。教師の授業力向上を図る。 ・一人一人に応じたきめ細かな指導を行う。

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・各種通信(学校便り・学年便り・保健便り・学級通信等)やHPにおいて、積極的に学校の教育活動を地域や保護者に知らせた。 ・地域の方に読み聞かせ、生活科や総合的な学習の時間等の授業、クラブ活動、天体観測等に協力していただいた。 ・ありがとう集会等では地域のみならず、より密接に広域に広げることができた ・避難時における児童の受け渡し訓練も実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放週間において、人権学習の授業を位置づけた。 ・不審者侵入訓練・水難防止訓練等関係機関を招いて実施した。校長が前任の経験でたばこ・薬物、SNSトラブル、金銭、非行防止教育等の授業を実施した。 ・地域の学習材を活用した体験学習を全学年において実施することができた。 ・低学年を中心に読書活動に広がりが見えてきた。善行の児童にはフチ表彰を行う ・ALTの授業を3年生から6年生までに実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着を図るために、授業の工夫、西脇タイムの利用、家庭学習の充実を図った。 ・書く活動の重視や話し合いを必要とする課題の設定を行った。 ・個の実態に合わせ、個別指導や取り出し指導、TT指導等の学習指導を行った。
取組の成果と課題【C】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りは見やすいように学習活動は写真を用いて掲載した。また、HPには学年行事を随時投稿するようにしたため、保護者からは、教育活動がわかりやすいとの評価をいただいている。メディア等にも多くの情報発信を積極的にに行った ・地域の方々との交流や指導していただく時間を多く持つことができた。 ・より多くの保護者に学校行事に参加してもらえるよう、一定の工夫は効果があったが、さらによりよい手立てを考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学習では、地域について学び、知り、地域に誇りを持つ子どもを育てる良い機会になり、より広域に広がっている。 ・豊かな体験活動や様々なゲストティーチャーの授業は、子どもたちの心を耕すよい機会となっている。 ・読書に親しむ児童が増加している。 ・校門での挨拶実施により、前年より自ら進んで挨拶できる子どもが増えたが、まだまだ少ない ・子どもたちの規範意識の醸成・向上をめざし、学校と家庭・地域の連携・協働を進める取組を推進する。 ・挨拶運動は自主的になるように児童会とタイアップして行う。 ・規範意識を高めるための清掃活動・集会や道徳の授業を工夫する。 ・古くても手入れをよくして大切に使う心を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業や参観授業(市・県教委・指導員・管理職等)を通して、研究主題に迫る実践ができるよう意欲的に取り組んでいる。 ・様々な工夫を行い一定の向上が見られるがまだまだ高学年においては、国語・算数を中心に基礎的な学力が不足している子どもが多い。
次年度に向けての改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ・HPは、子どもたちの活動のみならず保護者への啓発を行う。また、PTA活動を広報する枠を設け、発信できるようにする。 ・アンケートを様々な機会に実施し、保護者や地域の声を聴く。 ・コミュニティ・スクールを効果的にを行い、西脇地区共有コミュニティと連携を図りより開かれた学校をめざす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を深め、家庭学習(自主学習)や読書時間の確保に努める。 ・すべての子どもに学力保障をするために支援方法や個別指導の在り方を工夫する。 ・教師力・授業力向上のため積極的な校内外研修・講演会の機会を増やす。

3 その他の課題

・東校舎2階・3階の床を校務員が修繕しているものの、微妙な段差が何か所もでき、子どものけがにつながる恐れが大きいので、床の全面改修に向け、施設課に今後も強く要望していく。

・老朽化した場所や危険な場所を早急に察知できる力を教職員に醸成し、児童には古くても手入れをよくして大切に使う心を醸成する。改修できるところは早急に利便性に富む改修を行う、又、施設の向上を要求していく。

・図書室の蔵書を増やすために、地域に発信するとともに、PTAと連携し、アルミ缶回収をその資源にあてる。

・ICT/IOTの活用と導入を進める。